慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	編集後記
Sub Title	
Author	辻, 幸夫(Tsuji, Yukio) 小林, 宏充(Kobayashi, Hiromichi)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	2021
Jtitle	教養論叢 (Kyoyo-ronso). No.142 (2021. 2)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	小屋逸樹先生・小瀬村誠治先生・ロバート・ギブソン先生退職記念特集号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00062752-00000142-0291

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

今年度は新型コロナウィルス感染症禍のために，授業はもちろん，教授会を含むさまざまな学事関連会議も遠隔通信経由で行われました。1 年間キャンパスを訪れることなく学生生活を送った新入生は，慣れないリモート授業に追われ苦労が多かったことと思います。しかし，それは教職員の側も同様で，通常の対面授業ではなくインターネットを介してのライブまたはオンデマンドの講義準備は通常の何倍もの時間を要する準備が必要でした。この 1 年間，教員と学生との直接の対面交流，学生間の交友や部活動に制限があったのはいろいろな意味で大きな損失でしたが，学生・教職員が互いに協力しながら何とか 1 年を無事に終えられたことは，今後にかけて大きな自信となったに違いありません。

こうした大きな変化の中，令和 3 年 3 月末をもって法学部日吉所属の小屋先生，小瀬村先生，ギブソン先生が定年退職なさいます。

小屋先生は編集委員の一人が学部生ゼミの同期ですので，とても長いお付き合いになります。編集者は先に法学部に奉職していましたので，スイス在住であった小屋先生を今は亡き横山潤先生と一緒になって塾にお招きしました。新任人事発表の準備と練習を編集者の自宅や研究室で行ったのが楽しい思い出です。ご家族がスイスにいらっしゃいますので，ご退職後，このコロナ禍が去れば，もう少し一緒に過ごす時間ができるのではないかと思います。音楽とワイン，そして何よりも女性を愛する洒脱なお人柄のままで，これからさらにご活躍されることを祈っています。

小瀬村先生は，法学部の環境法，自然科学（のちに経済学からも

参加）の教員有志で始めた自主ゼミ，環境ゼミに化学分野から参加されていました。環境問題に関するご自身の視点から，多くの知識や資料，コメントを頂きました。以前はお酒も好まれ，一晩で一升近くを飲まれるとのことで，その酒豪ぶりが印象的でした。あるときからアスリートに専念されるとのことで，ゼミでご一緒することがなくなったのが寂しかったです。一方で，日々のトレーニングでお会いする際のさわやかな姿が，今でも印象的です。年齢を感じさせない若さ，アンチエイジングを実践されており，今後も憧れの存在です。

ギブソン先生はよくわからない謎の人でした。やはり編集者の一人が部会幹事をしていたときは，なかなか連絡がとれずに本当にギブソン先生は存在しているのかと真面目に思ったほどでした。ある日，仕事が詰まっていたので研究室を深夜近くに出るときでした。大きな柑橘類の入ったコンビニ袋を携えてギブソン先生が來往舎を出る編集者とすれ違いざまに，なぜか逆に入ってきました。理由は読者のご想像にお任せしますが，ギブソン先生は南房総の一軒家に住まわれる自然愛好家です。たぶん通勤にご苦労なさっていたのだろうと拝察します。ご退職後は自然を堪能しつつ，ゆったりしたご生活をお楽しみください。

今回の教養論叢は 3 名の先生方をお送りする退職記念号です。感染症禍のため，恒例の送別会で本書を直接お渡しすることは叶いませんが，先生方の今後のご健康とご活躍を心より祈念し本書を捧げたく思います。

（編集委員　辻・小林）